

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、国分科会ステージ2（レベル5 厳戒警報）とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
9月23日(木)～9月29日(水)	114名	31名

2 国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

前回（9月24日発表）	今回（10月1日発表）
国分科会ステージ3（レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は減少傾向にある。	国分科会ステージ2（レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は減少傾向にある。

3 県民の皆様へのお願い

本県の感染状況の改善は継続しており、8月8日から適用されていたまん延防止等重点措置については、9月30日をもって解除されました。一方、9月22日に定めたとおり、社会経済活動の再開は慎重に行うため、本日以降についても、熊本市の飲食店への時短要請を継続することとし、認証店については通常営業も可能としたほか、一定の対策を維持します。

今後の再増加を防ぐため、この時期に感染をしっかりと抑え込むことが重要と考えられるため、県民・事業者の皆様には、改めて基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）10月1日】

1 熊本県における現状認識

全国的に急速な新規感染者数の減少が継続している。重症者数や死亡者数も減少傾向にあり、医療提供体制・公衆衛生体制も改善傾向にある。こうした状況から、国は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置について、全て9月30日をもって解除した。

本県の9月23日から9月29日までの新規感染者数は114人（リンク無し感染者数は31人）、病床使用率は9月29日時点で12.1%である。これらから、本県の感染状況については国分科会ステージ分類としてはステージ2の段階となり、レベルとしてはレベル5 厳戒警報とする。

本県の感染状況の改善は継続しており、8月8日から適用されていたまん延防止等重点措置については、前述のとおり解除された。一方、9月22日に定めたとおり、社会経済活動の再開は慎重に行うため、本日以降についても、熊本市の飲食店への時短要請を継続することとし、認証店については通常営業も可能としたほか、一定の対策を維持する。

今後の再増加を防ぐため、この時期に感染をしっかりと抑え込むことが重要と考えられるため、県民・事業者の皆様には、改めて基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

前回（9/24発表）

国分科会ステージ3（レベル5 厳戒警報）
 なお、感染状況は減少傾向にある。

今回（10/1発表）

国分科会ステージ2（レベル5 厳戒警報）
 なお、感染状況は減少傾向にある。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (9月30日現在)

- 全国的に急速な新規感染者数の減少が継続している。重症者数や死亡者数も減少傾向にあり、医療提供体制・公衆衛生体制も改善傾向にある。こうした状況から、国は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置について、全て9月30日をもって解除した。
- 熊本県の9月23日から9月29日までの新規感染者数は114人（リンク不明感染者数は31人）、9月29日時点の病床使用率は12.1%である。これらより、熊本県の感染状況は国分科会ステージ分類としてはステージ2の段階となり、レベルの指標をそのまま当てはめるとレベル4 特別警報となるが、レベルを下げる場合は慎重に行うべきであるため、レベル5 厳戒警報と判断することが妥当である。
- 全国的な傾向と同様、熊本県の感染状況も著しく改善が進んでおり、国のステージ2の段階となった。まずは、県民及び事業者の皆様にも、専門家会議からもお礼を申し上げる。
- 今回の減少の要因は、様々な専門家が分析を進めているが、ワクチン接種の進行と国民の行動変容が大きいものと考えられている。そのため、一律的に緊急事態宣言等が解除されたことにより、緩和ムードが進行した場合、感染が再拡大に向かう恐れもある。
- イスラエルやシンガポールにおいては、ワクチン接種が進行していながら感染が大きく拡大したが、そのきっかけは行動規制の緩和であったことが判明している。こうした事態を防ぐためには、社会経済活動を徐々に再開していくなかで、適切な感染防止対策を組み合わせる必要がある。
- その一環として、抗原検査キットの市販による家庭での活用や、ワクチン・検査パッケージ制度の検討などが開始されている。こうした新たな制度は、住民が正しい知識に基づいて導入することで効果が高まるため、県・熊本市からも正確な情報発信に努めていただきたい。
- 現在、感染の再拡大を防ぎつつ、日常を取り戻すための新たな局面に入っている。他国の状況を見ると、今後も感染の再拡大はあり得るが、感染防止対策を適切にとることで、波自体を小さくし、強い対策を最小限に留めることは可能と考えられる。ワクチン接種が進行したことによる重症者の減少や、新薬の承認など、医療に関連する状況も変化しつつあることから、県・熊本市においては、自宅・宿泊療養も含め、医療提供体制全体の最適化を進めていただくようお願いする。

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率 県内全検査	④新規陽性者数 週合計	⑤感染経路不明割合 直近一週間	新規陽性者数の前週今週比 前週今週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	入院医療		重症者用病床					
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均	週合計	直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階							
9月29日	12.1%	39.9%	10.7%	193人	2.0%	114人	31人(27.2%)	0.50
9月22日	23.1%	38.4%	16.1%	383人	3.7%	228人	58人(25.4%)	0.67
9月15日	35.5%	34.0%	25.0%	641人	4.5%	340人	105人(30.9%)	0.45
9月8日	50.5%	22.5%	33.9%	1,380人	8.0%	756人	252人(33.3%)	0.54
9月1日	53.9%	16.7%	32.1%	1,973人	11.1%	1,406人	421人(29.9%)	0.86
8月25日	59.2%	16.4%	25.0%	2,199人	12.4%	1,628人	592人(36.4%)	1.08
8月18日	53.6%	22.3%	16.1%	1,464人	15.0%	1,513人	601人(39.7%)	1.73

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警戒	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警戒	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警戒	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

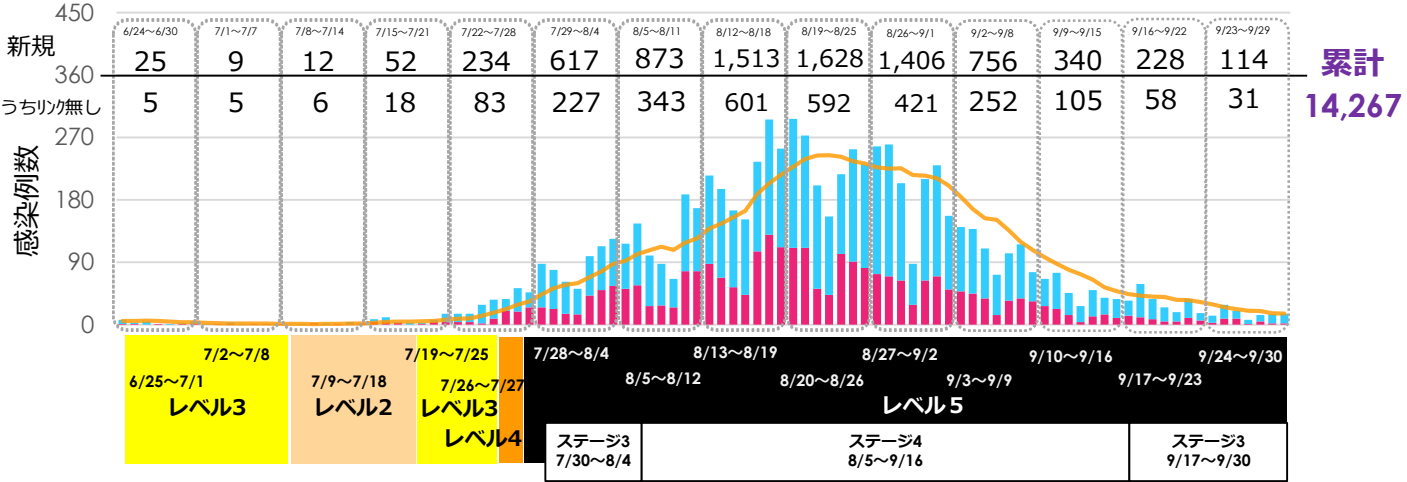
※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（6/24～9/29）：確定日ベース】

■ 新規感染例数 ■ リンク不明感染例数 — 新規感染例数7日間平均



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	9/23～9/29		保健所名	これまで	9/23～9/29	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	8,126	62	8.4	宇城保健所	682	3	2.9
有明保健所	1,274	23	14.8	八代保健所	745	0	0.0
山鹿保健所	393	6	12.0	水俣保健所	219	0	0.0
菊池保健所	1,344	15	8.1	人吉保健所	221	0	0.0
阿蘇保健所	266	1	1.7	天草保健所	220	2	1.8
御船保健所	663	2	2.4	計	14,153	114	6.5

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

3 県民の皆様へのお願い（10月1日発表）

熊本県の状況は、**国分科会ステージ2（レベル5 厳戒警報）**です。
また、感染状況は減少傾向にあります。

医療を守る行動強化期間

期間：10月1日(金)～10月14日(木)

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用、手洗い、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

2 移動・外出は慎重に

- ・熊本市においては、路上・公園での集団飲酒等はしないで下さい。
- ・外出時は、感染防止対策を徹底してください。

3 会食はリスク大！特に注意しましょう

- ・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ① なるべく普段から一緒にいる人と
- ② 人数を絞って
- ③ 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して

- ・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。

- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、**様々な工夫と一人ひとりの心がけて、感染リスクを下げることは可能**です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店を確認しましょう。
➤ 感染防止対策を実施しているお店は、スタッフの掲示等で確認できます。
- 他の団体・家との接触を減らすため、部屋を別にする、バーテーションで空間を分けるなどの対応が可能なお店と相談しましょう。
- 大人数（5人以上）での会食の場合は、テーブルを分ける、席の配置を斜め向かいにする、席と席の間にアクリル板を設置するなどの対応が可能なお店と相談しましょう。

STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
➤ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や咳の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 深皿は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソートドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の常態で参加者の気分が昂揚し、マスク越しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- はしご酒は控えましょう。
- 帰宅直後の手洗いや入浴により、家屋内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、かかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

4 飲食店事業者の皆様への要請

【時短要請】

熊本市全域の午後8時以降も営業する飲食店について、午後8時から翌日午前5時までの間、営業をしないよう要請します。
(酒類提供のラストオーダーは午後7時30分)
なお、認証店については通常営業も可とします。

【感染対策】

「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けるか、県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示して下さい。

5 イベントの開催について

- ・県の「イベント等の開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底して下さい。
- ・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】のいずれか小さい方に制限して下さい。
- ・全国的な人の移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合、施設管理者又はイベントの主催者は県に事前相談して下さい。

	①大声での歓声・声援等がないことを前提としうる場合	②大声での歓声・声援等が想定される場合等
人数上限	10,000人	
収容率	要件※1を全て満たす場合	100%以内
	満たさない場合	50%以内※2

※1…これまでクラスター等が生じておらず、適切な感染防止対策が徹底されていることについての要件。
県HPの「イベント等の開催制限について」をご確認ください。

※2…異なるグループ又は個人間では座席を1席空けることとしつつ、同一グループ(5人以内に限る)内では座席等の間隔を設ける必要はない。すなわち、収容率は50%を超えることもありうる。

【参考】イベント開催時の必要な感染防止策（概要）

(1) 徹底した感染防止等（収容率50%を超えるイベントを開催するための前提）

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| ①マスクの常時着用を求め、実施状況を確認する | ②大声を禁止し、大声を出す者がいた場合は個別に注意等を行う |
|------------------------|-------------------------------|

(2) 基本的な感染防止等

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| ③①、②を可能な限り実行することをガイドラインで定める | ④こまめな手洗いの奨励 |
| ⑤主催者による施設内のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒 | ⑥法令等を遵守した空調設備の設置、こまめな換気 |
| ⑦密集を回避すること（特に入場・退場時は注意） | ⑧会場内における身体的距離の確保 |
| ⑨エリア・時間等による飲食の制限 | ⑩検温等による入場制限 |
| ⑪参加者の連絡先の把握／接触確認アプリの奨励 | ⑫演者の行動管理 |
| ⑬イベント開始前後の感染防止の注意喚起 | ⑭ガイドラインを遵守していることをHP等で公表する |

(3) イベント開催の共通の前提

- | |
|------------------------------------|
| ⑮混雑が予想されるイベントの入退場やエリア内の行動管理 |
| ⑯大規模イベントは、地域の感染状況に応じ、実施条件等を都道府県と相談 |

詳細は、熊本県HPより「イベント等の開催制限について」をご確認ください。

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守を要請
- ・テレワーク・時差出勤等の取組みの協力依頼
- ・職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等）徹底の協力依頼

学校

- ・大学を含む学校に対し、地域の感染状況に応じて、感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い活動の自粛の検討を依頼
- ・部活動において対外活動の制限を依頼

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取組み（職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等）徹底の協力依頼
- ・保育室や通園バスなど密になりやすい場面での感染防止対策徹底の協力依頼

（「医療を守る行動強化期間」の対策は以上です）

事業者の皆様へ

業種別ガイドラインにより感染防止対策を行う際には、マスク着用などの飛沫感染対策に加え、コンピューターや共用物品・設備などによる接触感染にご注意ください。

また、業種によらず従業員にわずかでも発熱等の症状がある場合、確実に仕事を休ませ、受診につなげる体制を構築することが非常に重要です。

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。

感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にならないよう、お願いします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、新規感染者数は5週連続で減少しています。また、病床使用率は9月29日時点で26.0%となっており、9月23日以降、「熊本市医療非常事態宣言」の解除基準を継続して下回っていることから、9月30日をもって同宣言は解除されました。

その一方、学習塾や放課後等デイサービスにおいてクラスターが発生しており、油断できない状況です。

まん延防止等重点措置の解除に伴い、段階的に行動制限が解除されますが、熊本市においては飲食店の時短要請も維持します。早期のリバウンドを生じさせないために、引き続き、基本的な感染防止対策を徹底する必要があります。

【対策】

- ・全ての飲食店の営業時間の短縮要請に関する制度周知など、県市連携して取り組みます。
- ・熊本市における取組は以下のとおりです。
 - ✓ 保育所等への感染防止対策の相談・指導強化（現地確認等）
 - ✓ 市広報車両による巡回や声掛け、熊本シティFMや街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
 - ✓ 小中学校・保育所・民間企業等への抗原キットの配布
 - ✓ 県と連携し、入院患者受入病床や後方支援医療機関の更なる確保の継続的な実施
 - ✓ ワクチン接種の着実な実施

【熊本市からの要請】

- ・熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。
 - ✓ **基本的な感染防止対策**を徹底してください
(手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用)
 - ✓ **飲食宅配サービス**を積極的にご活用ください。
 - ✓ **路上や公園等における集団での飲酒等**はしないでください。
 - ✓ 職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、**テレワーク**等に協力してください。
 - ✓ **中心市街地飲食店従業員を対象としたPCR検査等**について、受検していただくようお願いいたします。
 - ✓ **小中学校・保育所・民間企業等への抗原キットの配布**について、積極的に活用していただくようお願いいたします。